

(令和3年5月31日)

< ワンポイントレッスン (実践編) >
(新規求人数・原数値)

先週末は、有効求人倍率や失業率など4月の雇用関係の統計が発表されました。有効求人倍率、失業率ともに前月(3月)に比べて悪化しています。こうした中で、今回は「新規求人数」の動向。景気動向指数では、先行指数の採用系列の一つとなっています。ちなみに、一致指数には有効求人倍率、遅行指数には完全失業率が採用系列に含まれています。

下表は、一般職業紹介状況から「新規学卒者を除きパートタイムを含む(以下、含パートタイム)」と「パートタイム」をまとめています。

新規求人数は、下表の通り今年3月になって上昇に転じたかに見えましたが、4月は再度低下。一方、**新規求職数**は、3月、4月になって増加が顕著です。

(新規求人数・原数値)

単位(人、倍)

	新規学卒者を除きパートタイムを含む			パートタイム		
	新規求人	新規求職	倍率	新規求人	新規求職	倍率
※2019年10月	1,027,759	389,973	2.64	424,159	135,992	3.12
2020年4月	656,148	469,017	1.40	251,289	163,440	1.54
5月	637,335	356,652	1.79	245,731	121,057	2.03
6月	756,004	434,634	1.74	297,081	154,172	1.93
7月	700,142	388,642	1.80	276,850	131,120	2.11
8月	662,446	340,537	1.95	258,571	114,685	2.25
9月	758,091	368,736	2.06	290,363	131,450	2.21
10月	788,994	400,930	1.97	311,373	144,329	2.16
11月	708,540	321,612	2.20	284,362	109,325	2.60
12月	722,181	301,488	2.40	272,019	92,203	2.95
1月	786,404	392,255	2.00	307,436	129,309	2.38
2月	766,349	397,068	1.93	310,237	139,718	2.22
3月	828,752	454,752	1.82	330,908	161,268	2.05
4月	756,046	536,969	1.41	289,981	218,882	1.32

出所：厚生労働省・一般職業紹介状況(令和3年4月分)、参考統計表

※は、コロナ・ショック前、2019年のピーク値。

新規求人数は、新型コロナショック前のピーク19年10月に比べて「含パートタイム」は3月に80%を超える水準に回復しましたが、4月は75%水準。「パートタイム」は70%を下回る水準。本格回復は、まず新規求人数の増加から…。ワクチン接種の効果に期待です。

(了)